

令和4年4月入学者用

令和4年度

大学院教育学研究科（修士課程）

学生募集要項

**【重要】**

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、入学者選抜の方法や日時等を変更する場合があります。変更する場合は、本学ウェブページでお知らせします。



大阪教育大学  
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

## 目 次

1	アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	1
2	出願から入学手続までの流れ	3
3	募集人員	3
4	出願資格	4
5	選抜区分ごとの出願要件	5
6	出願手続	6
7	入学者選抜方法	9
8	試験期日及び時間	11
9	入学試験場	11
10	合格者の発表	11
11	長期履修学生制度	12
12	入学手続等	13
13	その他	15

この募集要項には、次の出願書類等（所定用紙）を添付していますので確認してください。

- 入学願書
- 受験票・写真票
- 音楽選択者提出用紙（教育ファシリテーションコース）
- 研究計画書表紙
- 個別の入学資格審査申請書
- 個別の入学資格審査に係る学力についての説明書
- 研究歴証明書
- 外国人留学生出願資格確認申請書（大学院）
- 長期履修申請書
- 出願用封筒
- 受験票返送用封筒
- あて名票

注1) 出願書類等は1次、2次、3次共通です。入学願書に選択欄がありますので、該当する募集を選択し、その募集の出願期間内に提出してください。原則として出願期間外に届いた出願書類は受理できません。ただし特別な事情がある場合は出願期間前に入試課までご相談ください。

注2) 1次募集出願者が2次募集、3次募集にも出願する場合、出願書類は再度提出してください。1次募集の提出書類を2次募集用に流用することはできません。なお、2次募集出願者が3次募集に出願する場合も同様とします。

# 1 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

## 「大阪教育大学アドミッション・ポリシー」

### 1. 基本理念・目標

大阪教育大学は、我が国の先導的な教員養成大学として、教育の充実と文化の発展に貢献し、とりわけ教育界における有為な人材の育成をとおして、地域と世界の人々の福祉に寄与する大学であることを使命としています。この使命を達成するため、大阪教育大学では人と真摯に向き合う姿勢を基に、学生一人ひとりの個性を尊重した教育を推進していきます。

教育学部の各課程・学科、大学院教育学研究科、大学院連合教職実践研究科、特別支援教育特別専攻科では、この理念・目標に沿った人材の養成や育成をめざしています。

なお、本学では教育学部及び大学院において外国人留学生の受入れを積極的に進めています。

### 2. 求める学生像

（教育学部）

- ・子どもの未来への使命感と教職への意欲や強い関心を持つ人
- ・教員として教育現場を担える十分な基礎学力と旺盛な探求心を持つ人
- ・幅広く専門分野を学ぶことにより広い視野や柔軟な思考力の修得をめざす人
- ・現代社会への幅広い関心と自らの課題意識を持って積極的に社会参画をめざす人

（大学院教育学研究科）

- ・学校や地域が抱える課題に強い関心を有する人
- ・特定分野において専門性や優れた実務・実践経験を有し、これを活用して教育・学習支援に参画することを志す人
- ・教育現場の課題について実践的研究を行うことで、学校改革に向けて先導的・中核的な役割を担うことを志す人

（大学院連合教職実践研究科）

- ・学校や地域の指導的・中核的な教員として高度で優れた実践力の獲得をめざす現職教員
- ・新しい学校づくりの担い手として自ら学び続けることで実践的指導力の獲得をめざす人

（特別支援教育特別専攻科）

- ・特別支援教育教員をめざすために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれる人
- ・特別支援教育の教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- ・障がいのある子どもたちの成長にかかわることにやりがいと使命を感じることができる人
- ・人とコミュニケーションを図る優れた能力や個性を備えている人
- ・これまでの生活体験をとおして、学校や教育への親しみや関心を強く抱いている人

（外国人留学生）

上記の学部若しくは大学院の求める学生像に加えて、次のような人を求めています。

- ・一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
- ・日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

### 3. 入学者選抜の基本方針

本学では、各募集区分の基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。

教育学部においては、学力の3要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）等を多面的・総合的に評価して入学者を選抜するため、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜、学部私費外国人留学生入学試験、第3年次編入学試験の多様な入学者選抜を実施します。

大学院教育学研究科においては、学校内外での教育・学習支援への関心、専門分野に関する知識・技能や学び続ける意欲等を総合的に評価して入学者を選抜するため、大学院入学者選抜を実施します。

大学院連合教職実践研究科においては、教職に必要とされる知識や学び続ける意欲等を総合的に評価して入学者を選抜するため、大学院入学者選抜を実施します。

特別支援教育特別専攻科においては、特別支援教育の教職に必要とされる基礎学力や特別支援教育への意欲等を総合的に評価して入学者を選抜するため、特別支援教育特別専攻科入学者選抜を実施します。

## 「大学院教育学研究科アドミッション・ポリシー」

### 1. 基本理念・目標

大学院教育学研究科は、教育・学習支援の実践力と課題分析力を備え、自らが有する専門性と異分野の知見を組み合わせることで学校・家庭・地域の教育に最適化できる先導的手法を深く探求し、教育現場の課題解決・価値創造の一翼を担う高度な人材を養成することを目的としています。そのために、以下のようにアドミッション・ポリシーを定めます。

### 2. 求める学生像

#### 【高度教育支援開発専攻】

- ・学校や地域が抱える教育課題の解決に強い関心を有する人
- ・特定分野において専門性や優れた実務・実践経験を有し、これを活用して教育・学習支援に参画する意欲を有する人
- ・教育現場の課題について実践的研究を行うことで、学校改革に向けて先導的・中核的な役割を担う意欲を有する人

#### (心理・教育支援コース)

- ①学士課程において公認心理師国家試験受験資格に必要なすべての科目を修めており、修士課程において必要とされる科目を修める強い意志のある人
- ②心理支援に関する高度な知識とスキルを身につけ、社会に貢献しようとする強い意欲を有する人
- ③スクールカウンセラーや教育相談員等の専門職の立場から教育を支援する意欲を有する人

#### (国際協働教育コース)

- ①学士課程で学んだ自身の専門研究分野に関して基礎的な知識と強い関心を有する人
- ②各国・地域の日本型教育システムに関する実践研究に取り組み、その成果を教育現場に反映させ、教育課題の解決の一翼を担う意欲を有する人
- ③日本語教育支援に関する実践研究に取り組み、教育を通して多文化共生社会の実現と持続に貢献しようとする意欲を有する人
- ④日本型教育システムや日本語教育支援についての研究成果を国際的に発信するためのコミュニケーション能力・語学力を有する人

#### (教育ファシリテーションコース)

- ①学校や地域が抱える教育課題の解決に強い関心を有する人
- ②以下のいずれかの専門性や優れた実務・実践経験を有し、これを活用して新時代の学校改革や教育現場の課題解決の一翼を担う意欲を有する人
  - ・AI・ICT等の先端技術、または、教育行政等に関する領域
  - ・社会教育や福祉、または、美術や音楽などの芸術活動に関する領域
  - ・医療や保健、スポーツなどの健康・安全に関する領域

### 3. 入学者選抜の基本方針

基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために、次の大学院入学者選抜を実施します。

#### (一般選抜)

本選抜では、外国語科目と専門科目によって、大学院で学ぶために必要な外国語能力、読解力、思考力、文章表現力、専門的知識を有しているかを評価します(教育ファシリテーションコースでは、専門科目によって、大学院で学ぶために必要な読解力、思考力、文章表現力、専門的知識・技能を有しているかを評価します)。また、口述試験、研究計画書及び成績証明書によって、専門分野の研究を遂行するために必要な専門的知識、大学院で学ぶ動機、意欲、主体性を有しているかを評価します。なお、研究計画書は、自らが身に付けるべき資質・能力を明確にし、教育全体の課題と関連付けた具体的な研究計画を特に評価します。

#### (外国人留学生等選抜)

国際協働教育コースでは、外国人留学生を広く受け入れるために、外国人留学生等選抜を実施します。本選抜では、専門科目によって、大学院で学ぶために必要な日本語能力、読解力、思考力、文章表現力、専門的知識を有しているかを評価します。また、口述試験、研究計画書及び成績証明書によって、専門分野の研究を遂行するために必要な日本語能力、専門的知識、大学院で学ぶ動機、意欲、主体性を有しているかを評価します。なお、研究計画書は、自らが身に付けるべき資質・能力を明確にし、教育全体の課題と関連付けた具体的な研究計画を特に評価します。

### 4. 入学前に学習しておくことが期待される内容

#### (学部卒学生等)

- ・大学卒業レベルと同等の基礎学力
- ・専門分野に関する基本的な知識・技能

#### (社会人等)

- ・教育現場や地域が抱える教育課題への強い関心と理解
- ・専門分野に関する知識・技能・実践経験

#### (外国人留学生等)

- ・大学卒業レベルと同等の基礎学力
- ・母国における教育課題の理解
- ・専門分野を学ぶための日本語能力

## 2 出願から入学手続までの流れ

内 容	1次募集	2次募集
出願書類の提出期間 <sup>注1</sup>	令和3年 7月26日(月) ～令和3年 8月 5日(木)【必着】	令和3年10月25日(月) ～令和3年11月 4日(木)【必着】
受験票の発送	令和3年 8月24日(火)	令和3年11月15日(月)
入学試験実施日 <sup>注2</sup>	令和3年 9月 4日(土)	令和3年11月28日(日)
合格者の発表及び 合格通知の発送 <sup>注3</sup>	令和3年 9月10日(金)	令和3年12月 3日(金)
入学手続関係書類の発送	令和3年11月18日(木)【予定】	合格発表と同時
入学金振込期限	令和3年12月10日(金)	令和3年12月17日(金)
入学手続期限	令和3年12月14日(火)【必着】	令和3年12月21日(火)【必着】

◆志願状況により、3次募集（入学試験実施日：令和4年2月6日（日））を実施する場合があります。実施の有無については、11月中旬に本学ウェブページで公表します。

注1) 出願期間等についての詳細は7頁をご参照ください。

注2) 台風等不測の事態により1次募集の入学試験を実施できない場合は、予備日を令和3年9月5日（日）に設定しています。2次募集以降で不測の事態により入学試験を実施できない場合の対応については、本学ウェブページでお知らせします。

注3) 合格者は本学ウェブページで発表します。合格通知は合格者にのみ送付します。

注4) 私費外国人留学生は出願期間前に事前の資格審査を行いますので、5頁を参照してください。

## 3 募集人員

大学院教育学研究科高度教育支援開発専攻 50人

コース名	選抜区分	募集人員（目安）	備 考
心理・教育支援コース	一般選抜	10人	・2次募集の募集人員については9月下旬頃に本学ウェブページで公表します。 ・3次募集を実施する場合は、詳細については11月中旬頃に本学ウェブページで公表します。
国際協働教育コース	一般選抜	8人	
	外国人留学生等選抜	12人	
教育ファシリテーションコース	一般選抜	20人	
合 計		50人	

#### 4 出願資格

次の(1)から(7)のいずれかに該当する者(一般選抜, 外国人留学生等選抜共通)

- (1) 大学を卒業した者(令和4年3月31日までに卒業見込みの者を含む。)
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者(令和4年3月31日までに授与される見込みの者を含む。)
- (3) 外国において, 学校教育における16年の課程を修了した者(令和4年3月31日までに修了見込みの者を含む。)  
及び外国の学校が行う通信教育により当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者(令和4年3月31日までに修了見込みの者を含む。)
- (4) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について, 当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において, 修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により, 学士の学位に相当する学位を授与された者(令和4年3月31日までに修了見込みの者を含む。)
- (5) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(令和4年3月31日までに修了見込みの者を含む。)
- (6) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号参照)
- (7) 本学大学院教育学研究科において, 個別の入学資格審査により, 大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で, 令和4年3月31日までに22歳に達するもの

注1) 出願資格(6)に該当する者は, 次に掲げる者等です。

- ① 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)による幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は1種免許状を有する者で22歳に達したもの
- ② 旧国立養護教諭養成所設置法(昭和40年法律第16号)による国立養護教諭養成所を卒業した者で, 教育職員免許法による中学校教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は1種免許状を有するもの
- ③ 旧国立工業教員養成所の設置等に関する臨時措置法(昭和36年法律第87号)による国立工業教員養成所を卒業した者で, 教育職員免許法による高等学校教諭免許状及び3年以上教員として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有するもの

注2) 出願資格(7)による入学志願者は, 出願期間前に個別の入学資格審査を行いますので, 各提出期限までに下記の書類を郵送(書留とする)又は持参により入試課に提出してください。

- ① 個別の入学資格審査申請書(本学所定の用紙使用)
- ② 個別の入学資格審査に係る学力についての説明書(本学所定の用紙使用)
- ③ 長型3号封筒 資格審査結果連絡用(あて先明記, 384円切手貼付(2次募集以降は郵便料金の改定により354円分の切手貼付))
- ④ 高等学校卒業後の学歴に係る卒業証明書及び成績証明書(調査書)※1, 2
- ⑤ 研究歴証明書(本学所定の用紙使用, 大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了後, 日本国内又は外国の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において, 研究生・研究員等として研究に従事した者)

※1 証明書等の氏名が現在の氏名と異なる者は, 改姓届(書式は任意, A4判)を作成して提出してください。

※2 証明書等が日本語以外で記載されている場合は日本語訳を添付して提出してください。

内容	1次募集	2次募集
個別の入学資格審査申請書類提出期限	令和3年 7月 2日(金)【必着】	令和3年10月 5日(火)【必着】

◆3次募集を実施する場合は, 詳細について本学ウェブページで公表します。

個別の資格審査結果は電子メール又は郵送にて通知します。

注3) 私費外国人留学生の入学志願者は、出願期間前に出願資格の確認を行いますので、以下の提出期限(必着)までに下記の書類を郵送(書留とする)又は持参により入試課に提出してください。

- ① 外国人留学生出願資格確認申請書(本学所定の用紙使用)
- ② 出身大学の卒業証明書のコピー及びその日本語訳(個別の入学資格審査を申請する者は不要)
- ③ 在留資格・期間を証明する書類(在留カードのコピー(すでに日本に在留している者のみ))

内容	1次募集	2次募集
外国人留学生出願資格確認申請書類提出期限	令和3年 7月 9日(金)【必着】	令和3年10月12日(火)【必着】

◆3次募集を実施する場合は、詳細について本学ウェブページで公表します。

出願資格(7)による入学志願者は、注2)の書類と併せて郵送(書留)又は持参により入試課に提出してください。この場合の提出期限は注2)に記載のとおりです。

出願資格の確認結果は、電子メール又は電話で通知します。

## 5 選抜区分ごとの出願要件

選抜区分	出願要件(出願資格以外の要件)
一般選抜	なし
外国人留学生等選抜 (国際協働教育コース)	日本国籍を有せず、出入国管理及び難民認定法により、大学院入学に支障のない在留資格を有する者又は入学に際し該当資格を有する見込みの者で、外国において学校教育における12年の課程を修了した者。

### 【注意事項】

入学には「出入国管理及び難民認定法」に定める大学院入学に支障のない在留資格の取得が必要です。「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格でも入学・在学することはできますが、その場合、「留学」の在留資格を対象にした各種助成制度を利用できません。

## 6 出願手続

### (1) 提出書類等

書 類 等	摘 要	該 当 者	
① 入学願書	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。	全 員	
② 受験票・写真票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。写真は正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影したものであり受験票・写真票とも同一のもの（写真の裏面に氏名を記入してください。）		
③ 決済確認票（入学検定料支払証明書）※ <sup>1</sup>	入学検定料支払専用サイトから決済確認票をA4用紙に印刷し提出してください。コンビニ払い、ネットバンキング、Pay-easy（ペイジー）での支払いの場合は、印刷後、表示される支払い期限までに支払いを行い、支払ったことが分かる書類（レシート・支払明細書等のコピー）を決済確認票へ貼り付けてください。		
④ 卒業（見込）証明書※ <sup>2</sup>	出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したもの <b>なお、出身大学に編入学した場合は、編入学前後の両方の大学等の成績証明書を提出してください。</b>		
⑤ 成績証明書※ <sup>2</sup>			
⑥ 研究計画書	本学所定の表紙を使用し、2通提出してください。（1通はコピーでも構いません。）		
⑦ あて名票	合格通知等を受け取る際の郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入してください（出願後住所変更した場合は、すみやかに届け出てください）。3枚とも記入してください ※送付先が海外の場合は、提出は不要です。出願後に別に指示します。		
⑧ 受験票返送用封筒	本学所定の封筒にあて先を明記し、切手384円分※ <sup>3</sup> を貼り付けてください。 ※2次募集以降は郵便料金の改定により354円分※ <sup>3</sup> の切手を貼り付けてください。 ※送付先が海外の場合は、提出は不要です。出願後に別に指示します。		
⑨ 住民票の写し	市区町村長発行の国籍・在留資格及び在留期間を明記したもの（出願者以外の世帯員についての証明は不要です）。		すでに日本に在留している外国人留学生等
⑩ 音楽選択者提出用紙	作曲者名・曲名を記入してください。（9頁参照）		教育ファシリテーションコース志願者の内、該当者
⑪ 作曲楽譜のコピー	自作品1～2曲の楽譜のコピー（9頁参照）		教育ファシリテーションコース志願者の内、該当者
⑫ 長期履修申請書	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。（12頁参照）		長期履修学生制度志望者
⑬ 改姓届	書式は任意です。A4判で作成してください。戸籍謄本等、改姓を証明する書類の提出は不要です。		証明書等に記載の氏名が現在の氏名と異なる者
⑭ 教育職員免許状に関する証明書	「教育職員免許状授与証明書」又は「教育職員免許状取得見込証明書」を提出してください。 ※教育職員免許状授与証明書の発行については、教育職員免許状を発行した教育委員会にお問い合わせしてください。		出願資格（6）該当者
⑮ 学位授与証明書	学位取得見込みの者は、「学士の学位授与申請受理証明書」（高等専門学校専攻科にあつては「学士の学位授与申請予定証明書」と併せて「修了見込証明書」）を提出してください。※ <sup>4</sup>		出願資格（2）該当者で独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による学位取得者

※<sup>1</sup> 入学検定料免除申請者は提出不要です。

※<sup>2</sup> 証明書等が日本語以外で記載されている場合は、**日本語訳**を添付して提出してください。

※<sup>3</sup> 50グラムまでの定形郵便物の料金と速達の料金を合計した金額分の切手を貼り付けてください。

※<sup>4</sup> いずれも提出できない場合は、事前に入試課へご相談ください（個別の入学資格審査を必要とする場合があります。4頁参照）。

## (2) 入学検定料納付方法

入学検定料の支払い方法は、クレジットカード、コンビニ払い、ネットバンキング、Pay-easy（ペイジー）となります。次の URL で本学ウェブページにアクセスし、入学検定料の支払い受付期間を確認の上、専用サイトから必要事項の入力を行い、入学検定料の支払い手続きを行ってください。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryoku.html>

- ・入学検定料 30,000円（別途、システム利用料がかかります。）
- ・入学検定料免除申請者は、入学検定料の納付は不要です。
- ・出願後、一旦受理した入学検定料は、返還できません。

ただし、次の場合は、入学検定料の返還請求が可能です。なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担です。また、返還請求には決済確認票（入学検定料支払証明書）が必要です。

ア) 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合、又は出願資格を有していないため出願書類が受理されなかった場合

イ) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

上記 ア) 及び イ) に該当する場合は、大阪教育大学入試課までお問い合わせください。

電話 072-978-3323（受付時間：平日9:00～17:00）FAX 072-978-3327

なお、入学検定料返還の時期は、返還請求の時期にかかわらず、令和4年度大学院教育学研究科の入試関連日程終了後、1次募集の場合は9月下旬、2次募集の場合は12月下旬に一括して返還手続きを行います。

・東日本大震災（平成23年3月11日）及び熊本地震（平成28年4月14日）により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下の本学ウェブページを参照してください。

[https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryoku\\_menjyo.html](https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryoku_menjyo.html)

## (3) 出願期間

内容	1次募集	2次募集	備考
出願期間	令和3年 7月26日(月)～ 令和3年 8月 5日(木)【必着】	令和3年10月25日(月)～ 令和3年11月 4日(木)【必着】	
出願期間後に書類が届いた場合に、受理可能な消印	令和3年 8月 3日(火)	令和3年11月 2日(火)	外国からの郵便は出願期間中に届いたもののみ受理します。
持参受付期間	令和3年 8月 5日(木) 10:00～17:00	令和3年11月 4日(木) 10:00～17:00	12:00～13:00は除きます。

◆3次募集を実施する場合は、詳細について本学ウェブページで公表します。

注1) 出願書類等は1次、2次、3次共通です。入学願書に選択欄がありますので、該当する募集を選択し、その募集の出願期間内に提出してください。原則として出願期間外に届いた出願書類は受理できません。ただし特別な事情がある場合は出願期間前に入試課までご相談ください。

注2) 1次募集出願者が2次募集、3次募集にも出願する場合、出願書類は再度提出してください。1次募集の提出書類を2次募集用に流用することはできません。なお、2次募集出願者が3次募集に出願する場合も同様とします。

#### (4) 出願方法

入学志願者は、(1) 提出書類等に示す書類等を取り揃え、

**〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1 大阪教育大学入試課へ、この要項に添付されている封筒に入れて、出願期間中に届くよう書留速達郵便で送ってください。持参の場合は柏原キャンパス入試課の窓口へ提出してください。**

注1) 現に在職中の方は、入学及び修学に支障を来さないよう勤務先で手続きを行ってください。

注2) 出願書類受理後は、記載事項の変更は認めません。また、記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注3) 受理した出願書類は、いかなる理由があっても一切返還しません。

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する方は、以下の日程までに入試課へご相談ください。

1次募集：令和3年 7月 2日（金）

2次募集：令和3年10月 5日（火）

◆3次募集を実施する場合は、詳細について本学ウェブページで公表します。

電話：072-978-3323 FAX：072-978-3327（受付時間：平日9：00～17：00）

電子メール：nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。なお、本ルームは入学後に修学上の配慮を希望される方の事前相談にも応じています。

（問い合わせ先）障がい学生修学支援ルーム

電話：072-978-3479（受付時間：平日9：00～17：00）

電子メール：sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

## 7 入学者選抜方法

(一般選抜)

外国語科目，専門科目，口述試験，研究計画書及び成績証明書を総合して行います。ただし，教育ファシリテーションコースについては，専門科目，口述試験，研究計画書及び成績証明書を総合して行います。

(外国人留学生等選抜)

専門科目，口述試験，研究計画書及び成績証明書を総合して行います。

### (1) 選抜方法

○一般選抜

コース・領域		外国語科目 ※1	専門科目 ※2	口述試験
心理・教育支援コース		英語	心理学に関する語句説明及び論述試験	教育課題に関する関心，専門分野に関する知識，研究計画書等について行う。
国際協働教育コース	日本型教育システム開発領域	英語	以下のうちから出願時に選択した1分野を選択解答 ※3 ・数理学：必須問題：「微分積分学」，「線形代数学」より出題 ・情報科学：必須問題：「ソフトウェア」，「プログラミング」より出題 ・自然科学：選択問題：物理学，化学，生物学，地学及び関連分野より出題	
	日本語教育支援高度化領域	英語，中国語，ドイツ語，フランス語のうちから1科目選択	(小論文試験) 必須問題：日本語・教育・日本文化に関する内容 選択問題：以下のいずれか1題を選択解答 ・アジア言語・文化に関する内容 ・ヨーロッパ言語・文化に関する内容 ・英語・英米文化に関する内容	
教育ファシリテーションコース	教育イノベーション開発領域	/	(小論文試験) 教育分野の課題と AI・ICT 等の先端技術の教育分野への活用に関する内容	
	地域教育・芸術支援人材高度化領域		以下のうちから出願時に1分野を選択 ・地域教育 ・音楽 ・美術 } 試験の詳細は別表を確認してください	
	健康・安全教育高度化領域		(小論文試験) 健康・安全・生活環境・スポーツの専門領域又は専門領域と学校や地域に関わる教育課題等に関する内容 選択問題：健康・安全・生活環境・スポーツに関する4問の中から希望する研究分野(専門領域)1題を選択解答	

※1) 「外国語科目」では，1冊に限り辞書(電子辞書等を除く。)を持参して使用することができます。

※2) 「専門科目」では，コース・領域・分野によって「小論文」，「実技」を課す場合があります。

※3) 分野は出願時に選択したものを解答してください(出願後の変更は認められません)。

#### (別表) 教育ファシリテーションコース地域教育・芸術支援人材高度化領域

分野	専門科目	留意事項
地域教育	(小論文試験) 教育連携・協働及び教育支援に関する内容	
音楽	(小論文試験) 音楽による地域連携・教育支援に関する内容  (実技試験) 音楽領域の技術・表現能力等に関する内容	(実技試験) 作曲・声楽・器楽から選択 器楽はピアノ・弦楽器・木管楽器・金管楽器の範囲から選択  *声楽，器楽の実技は提出した10分程度のプログラムを暗譜で演奏する。演奏曲目は，作曲者名と曲名を所定の用紙に記入し，出願時に提出すること。 *作曲の実技は自作品1～2曲の楽譜を出願時に提出すること。(器楽曲，声楽曲いずれも可，編成は任意とする。提出物は返却しないため，楽譜はコピーを提出すること) 試験当日，提出された作品についての試問を行う。 *ピアノ以外の器楽については受験可能な楽器であることを，大阪教育大学入試課に以下の日程までに電子メール(募集要項裏表紙に記載のメールアドレス)で問い合わせること。 1次募集：令和3年 7月19日(月) 2次募集：令和3年10月20日(水)

		※3次募集を実施する場合は詳細について本学ウェブページで公表。 *ピアノ以外の楽器は各自で準備すること。 *伴奏が必要な場合は、試験当日伴奏者を同伴すること。 *演奏を途中で中止させる場合がある。
美術	(実技試験) 美術領域の技術と経験, 教育協働に関する内容	与えられた事項を条件とするワークショップの企画・立案を行う。 解答用紙(半切判画用紙1枚)は大学で準備する。その他の必要な画材・用具は持参すること。※解答作成に有機溶剤等の危険物及びスプレー缶は使用できない。

○外国人留学生等選抜

コース・領域		専門科目 ※1	口述試験
国際協働教育コース	日本型教育システム開発領域	以下のうちから出願時に選択した1分野を選択解答 ※2 ・数理学: 必須問題: 「微分積分学」, 「線形代数学」より出題 ・情報科学: 必須問題: 「ソフトウェア」, 「プログラミング」より出題 ・自然科学: 選択問題: 物理学, 化学, 生物学, 地学及び関連分野より出題	教育課題に関する関心, 専門分野に関する知識, 研究計画書等について行う。
	日本語教育支援高度化領域	(小論文試験) 必須問題: 日本語・教育・日本文化に関する内容 選択問題: 以下のいずれか1題を選択解答 ・アジア言語・文化に関する内容 ・ヨーロッパ言語・文化に関する内容 ・英語・英米文化に関する内容	

※1) 「専門科目」では、領域によって「小論文」を課す場合があります。

※2) 分野は出願時に選択したものを解答してください(出願後の変更は認められません)。

※3) 専門科目, 口述試験において外国語としての日本語能力を評価します。

(2) ポートフォリオの提出(教育ファシリテーションコース地域教育・芸術支援人材高度化領域)

専門科目で「美術」分野を選択する者は、参考資料として、これまでの活動をまとめたポートフォリオ(形式自由)を持参してください。専門科目試験の際に回収します。提出されたポートフォリオは、口述試験終了時に返却します。

(3) 配点

○一般選抜

コース	外国語科目	専門科目	口述試験・研究計画書	合計
心理・教育支援コース	80	80	140	300
国際協働教育コース	100	100	100	
教育ファシリテーションコース		100	200	

○外国人留学生等選抜

コース	専門科目	口述試験・研究計画書	合計
国際協働教育コース	150	150	300

## 8 試験期日及び時間

1次募集：令和3年 9月 4日（土）

2次募集：令和3年11月28日（日）

（3次募集：令和4年 2月 6日（日）※定員充足状況により実施する場合があります）

○一般選抜

コース	外国語科目	専門科目	口述試験
心理・教育支援コース	9：00～10：00	10：30～12：00	13：30～
国際協働教育コース			
教育ファシリテーションコース			

○外国人留学生等選抜

コース	専門科目	口述試験
国際協働教育コース	10：30～12：00	13：30～

注1）試験室等は当日指示します。なお、志願者数によっては、口述試験等の試験時間を変更する場合がありますので、当日、掲示を確認してください。

注2）教育ファシリテーションコース地域教育・芸術支援人材高度化領域「音楽」分野の専門科目は、小論文試験を10：30～11：15に行い、小論文試験終了後、実技試験を行います。

## 9 入学試験場

大阪教育大学柏原キャンパス 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

【近鉄大阪線「大阪教育大前駅」（「鶴橋駅」から約30分）下車 南東へ約1km

エスカレーター（上り専用3基乗り継ぎ）、階段あり】

※令和3年9月15日（水）～令和3年12月24日（金）までエスカレーター1号機・2号機は工事を行いますので、運転停止します（3号機は通常どおり運転します）。

※受験票返送時に同封の試験場案内図及び注意事項を確認してください。

## 10 合格者の発表

合格者の発表は、以下の日程で、本学ウェブページで受験番号を公表して行います。

（本学ウェブページ：[https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/goukaku\\_happyou.html](https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/goukaku_happyou.html)）

合格者には、合格通知書及び入学手続関係書類（「入学手続要領」等）を別途郵送します。特定封筒郵便物（日本郵便レターパックプラス（手渡し配達））で郵送しますので、合格者は必ず受け取ってください。

合格者の発表について、電話等による照会には一切応じません。

内 容	1次募集	2次募集
合格発表の日時	令和3年 9月10日（金） 9：00	令和3年12月 3日（金） 9：00
合格通知書の発送日	合格発表と同時	合格発表と同時
入学手続関係書類の発送日	令和3年11月18日（木）予定	合格発表と同時

◆3次募集を実施する場合は、詳細について本学ウェブページで公表します。

入学手続書類の発送日から5日経過しても書類が届かない場合は入試課（電話 072-978-3323 受付時間：平日9：00～17：00）までお問い合わせください。

## 11 長期履修学生制度

### <長期履修学生制度について>

本制度では、職業を有している等の事情のため標準修業年限（2年）で修了することが困難な者を対象に、修業年限を延長することにより計画的に教育課程を履修することができ、かつ、その間の授業料の年額の負担を軽減することができます。なお、本制度が適用された者は、留学など長期間にわたって本学大学院を離れた場所での修学ができない場合があります。

### <申請資格>

次の①から③のいずれかに該当する者

- ① 職業を有する者
- ② 育児、介護等の事情を有する者
- ③ その他研究科長が認めた者

なお、不明なときは、事前に教務課へお問い合わせください。

### <受入可能人数>

特に定めない。

### <修業年限>

長期履修学生としての申請に基づき審査を行い、許可された場合修業年限を3年とします。なお、修学状況等の変動による標準修業年限への短縮や、入学後（在学中）の長期履修の申請も可能ですが、この場合は、1年次の所定の期日までに申請を行い、翌年度からの適用となります。

### <授業料（年額）>

大学が定めた授業料年額 × 標準修業年限（2年） ÷ 長期履修期間（3年）

なお、長期履修期間（3年）を超えて在学することとなった場合は、大学が定めた授業料年額が適用されます。

（参考）修業年限が3年で許可された者の授業料の年額

$535,800円 \times 2年 \div 3年 = 357,200円$ （年額）

### <申請方法>

「長期履修申請書」（本学所定の用紙を使用してください。）に必要事項を記入し、**在職証明書、現に在職であることが確認できる書類**（職業を有している場合）又は育児、介護等の事情を有することが確認できる書類を添付のうえ本入学者選抜試験の出願書類と併せて入試課へ提出してください。

### <申請期間>

本入学者選抜試験の出願期間と同じ。

### <長期履修学生の選考方法>

大学院の入学者選抜試験合格者の中から、申請書等により決定します。

なお、必要に応じて入学者選抜試験における口述試験の時間内に必要な事項を確認することがあります。

### <許可者の発表>

本入学者選抜試験の合格発表とともにを行います。

また、許可者には、郵送により通知します。許可者の発表について、電話等による照会には、一切応じません。

なお、不許可の場合は、長期履修（3年）ではなく、標準修業年限（2年）で大学院を修了することとなります。

詳細等については、長期履修申請書及び申請書裏面の記入要領を確認の上、教務課までお問い合わせください。

〈問い合わせ先〉〒582-8582 柏原市旭ヶ丘4-698-1 教務課大学院室修士課程係  
電話 072-978-3297（受付時間：平日9:00～17:00）  
電子メール daigakuin@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

## 12 入学手続等

### (1) 入学手続期限

以下の日程までに郵送してください。

内 容	1次募集合格者	2次募集合格者
入学手続期限	令和3年12月14日(火)【必着】	令和3年12月21日(火)【必着】
やむを得ない事情による 手続期限	令和3年12月15日(水)	令和3年12月22日(水)

◆3次募集を実施する場合は、詳細について本学ウェブページで公表します。

注1) やむを得ない事情があって、郵送で入学手続ができない場合には、事前相談のうえ、持参(来学)による入学手続を認めます。なお、詳細については合格者に別途通知します。入学手続期限までに入学手続を完了しない方は、入学辞退者として取り扱います。

注2) 本学受験票は、入学手続の際に必要となりますので大切に保管してください。

注3) 本学に入学手続をした後、特別な事情により本学への入学を辞退する場合は、入学辞退願により、事前に電話連絡の上、入学手続関係書類に記載の期日までに柏原キャンパス内の入試課で入学辞退手続をしてください。所定の期限以降の入学辞退は一切できません。ただし、入学手続をしなかった場合は、特に入学辞退の手続きをする必要はありません。

### (2) 入学金及び入学時諸費用

以下の日程までに、ア、イに示す金額を金融機関から振り込んでください。

1次募集合格者 振込期限：令和3年12月10日(金)

2次募集合格者 振込期限：令和3年12月17日(金)

◆3次募集を実施する場合は、詳細について本学ウェブページで公表します。

ア 入学金 282,000円

入学手続後、既に納付した入学金は、入学辞退を含むいかなる理由があっても返還しません。

イ 入学時諸費用

大阪教育大学校友会 50,000円

注1) 「大阪教育大学校友会」は、教育研究活動、大学行事、課外活動、福利厚生、奨学金給付及び就職への支援など様々な学生支援事業を行うとともに、在学を含む卒業生、修了生の同窓会活動への支援を行う組織です。

注2) 入学時のみの費用です。

注3) 上記記載の金額は、変更される場合があります。詳細については入学手続関係書類を参照してください。

### (3) その他入学に必要な費用

授業料(前期分) 267,900円(年額535,800円)

長期履修学生制度適用者の授業料

(前期分) 178,600円(年額357,200円) **(詳細は12頁参照)**

本学では授業料の「口座振替制度」(口座引落とし)を実施しており、入学後、学生名義の預金口座から、前期分は4月に、後期分は10月に授業料を引き落とします。

注1) 上記記載の金額は、令和3年度入学者の金額であり、令和4年度入学者については、変更される場合があります。詳細については合格者に別途通知します。

注2) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

注3) このほか、テキスト代や実習等の経費、課外活動等の経費は別途必要となる場合があります。

### (4) 入学金及び授業料免除制度等

入学金及び授業料の免除・徴収猶予制度があります。詳細は以下の本学ウェブページを参照してください。

入学金免除等について <https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/nyumen.html>

授業料免除等について <https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/jyumen.html>

注) 大学院特別授業料免除・・・本学大学院に在籍中で、学業成績等が優秀であると認められる方に対して、本人の申請に基づき、選考を行った上、授業料の半額を免除する制度です。

## (5) 奨学金

学業成績が優秀で、経済的理由により学資の支弁が困難な方には《日本学生支援機構奨学金》又は《一般奨学金》の制度があります。一般奨学金には、大きく分けて地方公共団体の奨学金と民間育英団体の奨学金とがあります。

(参考) 令和3年度入学者 日本学生支援機構奨学金の貸与月額例

奨学金の種類	貸与月額
第一種奨学金 (無利子)	50,000円・88,000円のいずれかより選択
第二種奨学金 (有利子)	50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円のいずれかより選択

注) 申請についての詳細は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

大学ウェブページ (<https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/syougaku.html>) でも案内しています。

〈問い合わせ先〉 学生支援課奨学厚生係

電話 072-978-3491 (受付時間: 平日 9:00~17:00)

## (6) 私費外国人留学生の在留資格『留学』の申請について

私費外国人留学生の合格者には、『在留資格に係る申請書類交付願』を入学手続関係書類(「入学手続要領」等)とともに送付しますので、以下の申請書を出入国在留管理庁に提出する必要がある方は、『在留資格に係る申請書類交付願』に必要事項を記入して、入学手続後に大阪教育大学入試課まで提出してください。

○在留期間更新・在留資格変更許可申請書(所属機関等作成用)

○在留資格認定証明書交付申請書(所属機関等作成用)

## (7) ノートパソコンの必携について

ア はじめに

本学では、講義の資料提示の他、レポート作成や個別指導など、大学生活の中で数多くの機会にパソコンを活用します。

大学院修了時には、獲得した知識とスキルを教育現場や社会で十分に発揮できるよう、自分専用のノートパソコンを用いてさまざまな活動を行ってもらうことを目的とし、ノートパソコンを大学へ持参していただいています。

イ 持参していただくノートパソコン

本学が指定する必要条件(最低限必要な機能・性能等)を満たす自分専用のノートパソコンを入学までにご用意ください。

必要条件を満たせば、すでにお持ちのノートパソコンを使用していただいても結構です。本学では、特定の機種を指定して購入をお願いすることはしていません。

詳しくは合格者に送付する入学手続関係書類に同封する「ノートパソコンの必携についてのご案内」にてお知らせします。

なお、令和4年度の新入生向けノートパソコン必要条件は、前年度の必要条件とほぼ同様となる予定です。

ウ 貸与

やむを得ない事情で、ノートパソコンの貸与を必要とされる方には、「ノートパソコン貸与基準」により審査を通過した者に、原則入学後6ヶ月間に限り大学から貸与します。

(参考)

・ノートパソコンの必要条件(前年度の内容です)

<https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~ipc/byod/>

・ノートパソコン貸与基準

<https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~ipc/byod/taiyo2021.html>

＜ノートパソコン必携に関する問い合わせ窓口＞

情報企画室 電話 072-978-3772 (受付時間 平日 9:00~17:00)

## 13 その他

(1) **学位** 修士（教育学）【英語表記：Master of Education】

### (2) 教育ファシリテーションコースの授業実施方法

次のとおり平日は夜間に、土曜日は午後及び夜間に授業を行います。

平日 夜間2時限（18：00～19：30，19：40～21：10）

土曜日 午後2時限（14：40～16：10，16：25～17：55）

夜間2時限（18：00～19：30，19：40～21：10）

### (3) 主な修学場所

心理・教育支援コース、国際協働教育コース：柏原キャンパス

教育ファシリテーションコース：天王寺キャンパス

### (4) 担当教員等

本学ウェブページ (<https://osaka-kyoiku.ac.jp/university2/index.html>) 教育学研究科（修士課程）を参照してください。

### (5) 個人情報について

出願受付を通じて取得した個人情報及び入学試験の実施により取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」、「国立大学法人大阪教育大学保有個人情報等管理規程」及び「国立大学法人大阪教育大学保有個人情報開示等取扱規程」に基づき、適切に管理し、以下のとおり取り扱います。法令に基づく場合を除き、個人情報の目的外利用及び第三者に提供することはありません。

1. 入学者の選抜、合格発表、入学手続業務等に利用します。
2. 入学者の個人情報については、教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金申請等）、授業料徴収等に関する業務に利用します。
3. 入学者選抜に用いた試験成績は、個人が特定できない形で処理したうえで、今後の入学者選抜等における調査、研究及びこれらに付随する業務を行うための分析資料として利用します。

なお、以上の業務の一部又はすべてを外部に委託し、必要な個人情報を提供する場合は、委託先との間で適切な取扱いに関する契約を締結します。

### (6) 安全保障輸出管理について

大阪教育大学では、「外国為替法及び外国貿易法」に基づき、「大阪教育大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので注意してください。

【参考】「大阪教育大学安全保障輸出管理規程」

大阪教育大学規程集 <http://goose.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/doc/public/index.html> より

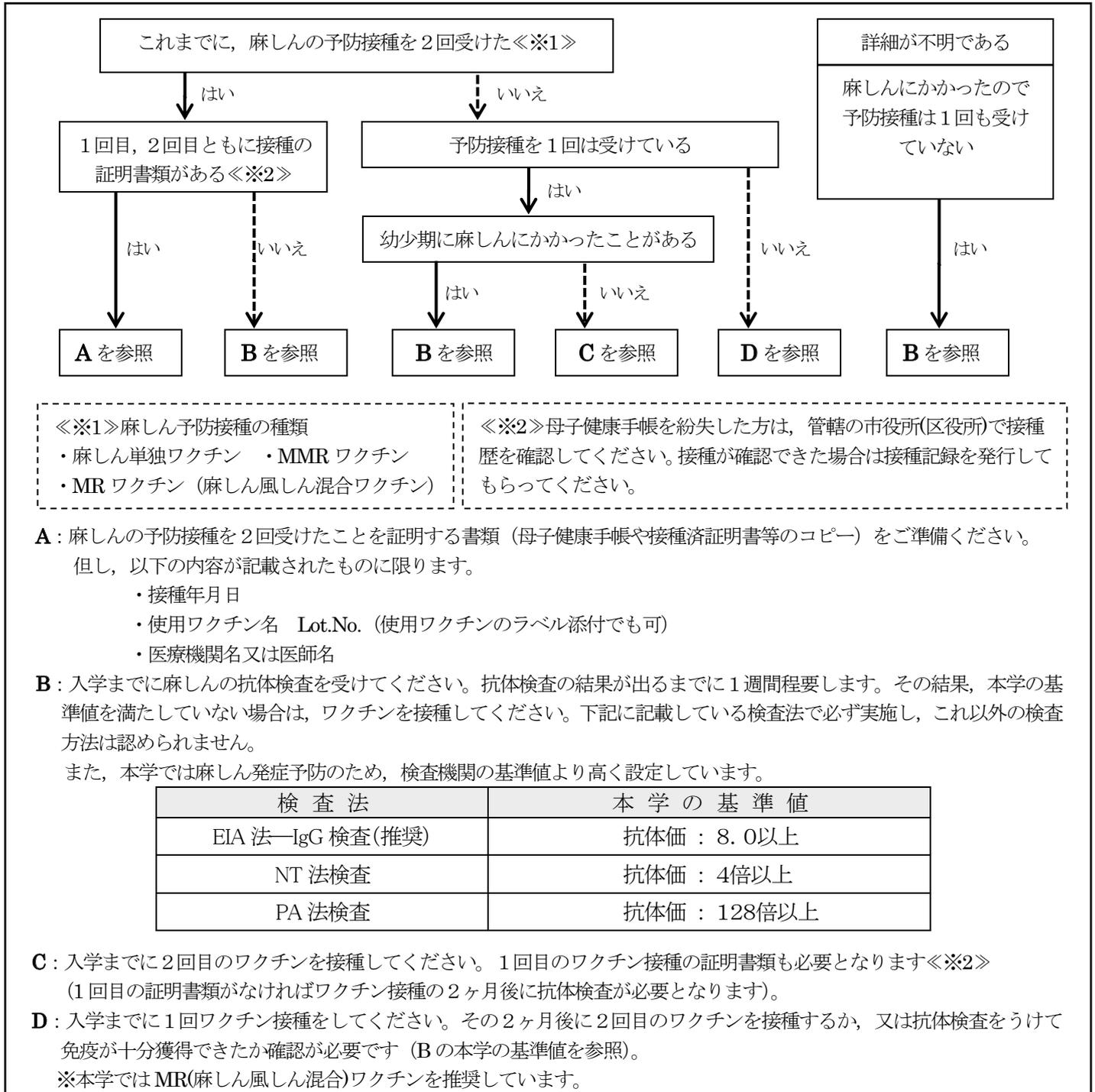
体系別一覧 >第7章 研究協力 >国立大学法人大阪教育大学安全保障輸出管理規程

経済産業省「安全保障貿易管理」 <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

## 麻しん（はしか）の予防について《お知らせ》

厚生労働省は、2007年に高校・大学を中心とした学校等での麻しん（はしか）流行を経験したことから、麻しん予防を学校保健上の重要な課題として位置づけ、文部科学省と協力の上、麻しんの流行をなくすため、予防に有効なワクチンの2回接種を強く勧奨しています。これに基づき、本学入学試験合格者は、入学手続き書類として【麻しん（はしか）に関する確認書】の提出が必要です。合格者の年齢に関係なく、全員が対象となります。

本学所定の【麻しん（はしか）に関する確認書】は、入学手続き関係書類等と一緒に送付されます。お手元に届いてから入学手続きまでの期間が短い場合があります。下記のフローチャートを参考に、早めにご準備ください。

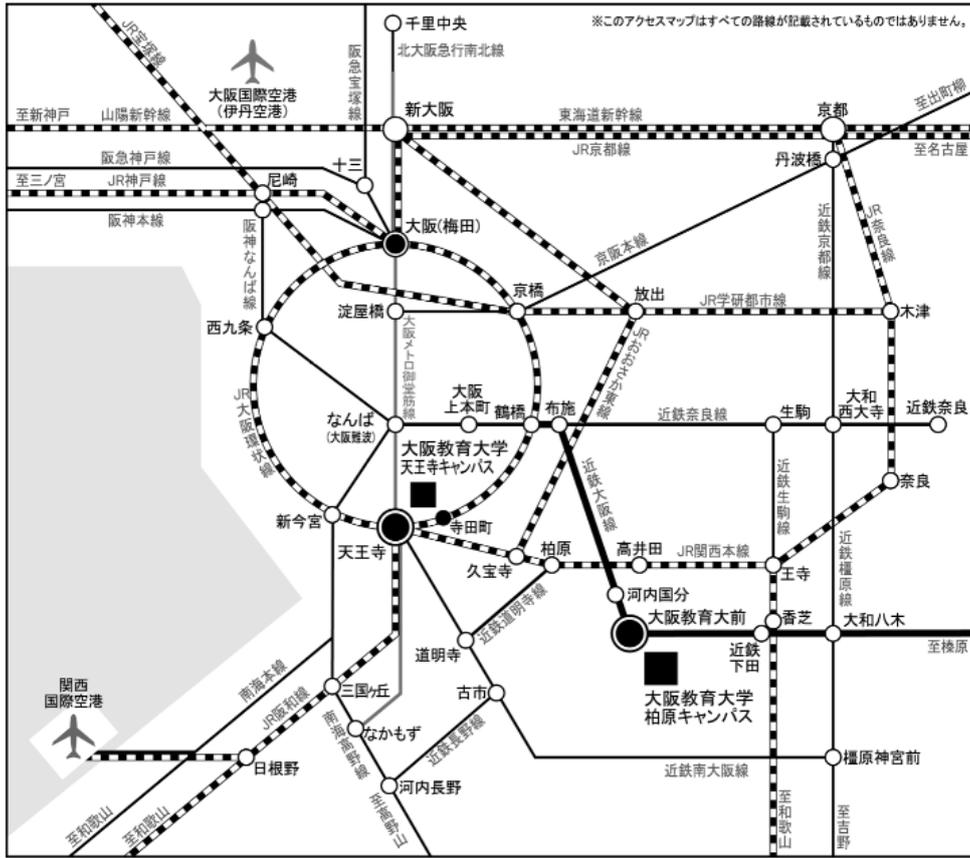


【麻しん（はしか）に関する確認書】については、入学手続きに関する事前のお知らせです。  
入学試験の出願や受験には関係ありません。

（問い合わせ先） 大阪教育大学保健センター

電話 072-978-3811（受付時間：平日9：00～16：00）

# 大学所在地略図

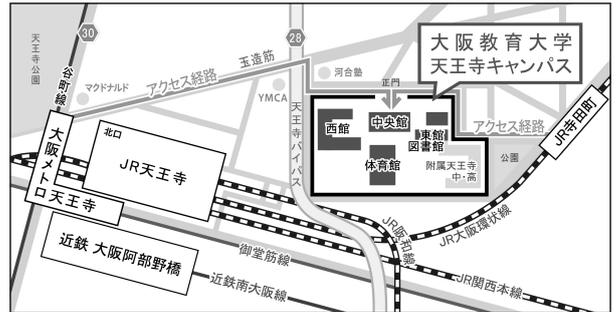
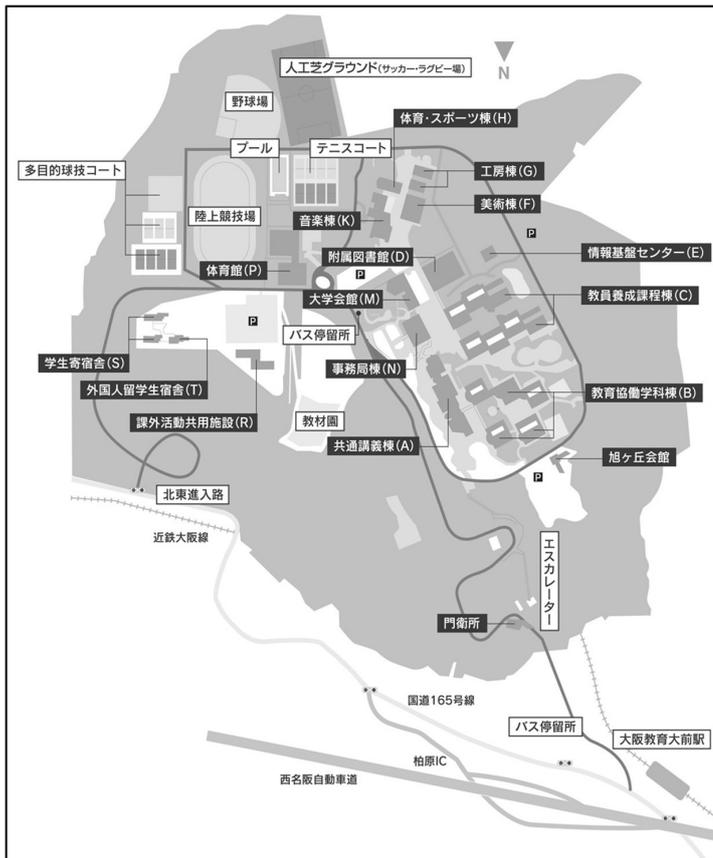


## 柏原キャンパス

所在地 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1  
 交通 近鉄大阪線「大阪教育大前駅」(「鶴崎駅」から約30分)下車 南東へ約1km  
 エスカレーター(上り専用3基乗り継ぎ), 階段あり  
 ※令和3年9月15日(水)~12月24日(金)までエスカレーター1号機・2号機が工事をしていますので、運転を停止します(3号機も通常どおり運転します)。

## 天王寺キャンパス

所在地 大阪市天王寺区南河堀町4-88  
 交通 JR大阪環状線「寺田町駅」下車 南出口を西へ約350m  
 JR・地下鉄「天王寺駅」, 近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」下車 東へ約600m



大阪教育大学では、下記の入試情報及び学生生活案内についてウェブページでお知らせしています。  
また、災害等により不測の事態が発生した場合もウェブページを利用して情報提供を行います。  
(大学案内・募集要項はウェブページから請求できます。)

- ・教育学部（一般選抜、学校推薦型選抜、私費外国人留学生、第3年次編入学）
- ・大学院教育学研究科（修士課程）
- ・大学院連合教職実践研究科（専門職学位課程）
- ・特別支援教育特別専攻科

ウェブページ  
(PC・スマホ版)

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>



**【資料請求について】**

大学案内や募集要項等は、本学ウェブページから資料請求やPDF版をダウンロードすることが可能です。またテレメールサイトに右のQRコードからアクセスし、請求することもできます。



**問い合わせ先**

大阪教育大学入試課

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

電話 072-978-3323 (入試課直通)

(受付時間：平日9:00～17:00)

FAX 072-978-3327

電子メール nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp